

誇れる千葉県の現勢

千葉県は日本列島の中央部南東端に位置する房総半島の大部分を占め、北は利根川を隔てて茨城県、西の北半部を東京都・埼玉県とそれぞれ接し、東から南は太平洋、西の南半部は東京湾と浦賀水道に面しており、位置と面積は次に示す通りである。

位置	極東 銚子市君ヶ浜	東経 140度52分
	極西 館山市洲崎	東経 139度45分
	極南 安房郡白浜町野島崎	北緯 34度54分
	極北 東葛飾郡柏市三軒家	北緯 36度06分
面積	5,150.60km ² (昭和62年10月) (全国第27位)	
海岸線	498.02km(昭和62年3月)	

中国定・県立自然公園

名称	所在地
1 水郷筑波国定公園	銚子・佐原市・香取郡那珂市
2 南房総国定公園	市原・館山市・安房郡那珂市
3 印旛手賀沼国定公園	佐倉・成田・我孫子・柏市
4 大利根県立自然公園	沼南・栄・印旛町・印旛村
5 九十九里県立自然公園	銚子市・神崎町
6 笠森鶴舞県立自然公園	銚子市・匝瑳・長生郡
7 養老溪谷奥清澄県立自然公園	長柄・長南町・市原市
8 高宕山県立自然公園	君津市・富津市
9 嶺岡山系県立自然公園	鴨川市
10 富山県立自然公園	安房郡富山町

中史跡・天然記念物

名称	所在地
(史跡)	
1 加曾利貝塚	千葉市桜木町
2 月ノ木貝塚	〃 仁戸名町
3 荒屋敷貝塚	〃 貝塚町
4 龍角寺境内塔跡	印旛郡栄町龍角寺
5 岩屋古墳	〃 〃 字池下
6 下総国分寺跡	市川市国分
7 下総国分尼寺跡	〃 〃
8 堀之内貝塚	〃 北国分
9 姥山貝塚	〃 柏井町1丁目
10 曾合貝塚	〃 曾合2丁目
11 山崎貝塚	野田市清水
12 伊能忠敬旧宅	佐原市佐原
13 大原幽学遺跡	香取郡干潟町長部
14 阿玉台貝塚	〃 小見川町阿玉台
15 良文貝塚	〃 〃 貝塚
16 芝山古墳群	山武郡横芝町中台・芝山町
17 上総国分寺跡	市原市惣社
18 弁天山古墳	富津市小久保
(特別天然記念物)	
(天然記念物)	
19 千本イチョウ	市川市八幡町 葛飾八幡宮
20 神崎の大クス	香取郡神崎町神崎本宿
21 府馬の大クス	〃 山田町府馬
22 成東・東金	山武郡成東町島
23 食虫植物群落	〃
24 鶴枝ヒメハルゼミ	茂原市上永吉
25 笠森寺自然林	長生郡長南町笠森
26 高宕山のサル生息地	〃 豊岡・君津市平田
27 竹筒のヒカリモ生息地	〃 萩生
28 清澄の大スキ	安房郡天津小湊町清澄
29 夷隅川上流	勝浦市
30 淡水生物生息地	〃

中遺跡・旧跡

名称	所在地
1 日井城跡	佐倉市日井台
2 大勝川城跡	夷隅郡大多喜町大多喜
3 勝浦川城跡	勝浦市八幡町
4 小見川城跡	君津市久留里
5 倉貴城跡	香取郡小見川町小見川
6 佐貫城跡	佐倉市内城
7 関宿城跡	富津市佐貫
8 南葉城跡	東葛飾郡関宿町関宿
9 千代田城跡	館山市館山岡沼
10 大溜袋遺跡	千葉市美郷
11 八代玉作遺跡	印旛郡富里町七栄
12 明治天皇船橋行在所跡	成田市八代
13 久保木竹窓遺跡	船橋市本町4丁目
14 飯加野陣屋跡	佐原市津宮
15 加田寺遺跡	富津市下飯野
16 寛文寺遺跡	安房郡丸山町加花
17 大水北御前古墳	〃 館南町下佐久間
18 神楽山古墳	千葉市生実町
19 前鬼塚古墳	我孫子市高野山
20 滝子神社古墳	香取郡多古町東松崎
21 金八内長上藤野西木網	匝瑳郡八日市場町錦木
22 鐘塚古墳	長生郡長南町芝原
23 岩谷古墳	市原市姉子二子
24 貝塚	〃 〃
25 貝塚	木更津市長須賀
26 貝塚	君津市外裏輪
27 貝塚	富津市二間家
28 貝塚	千葉市平山町
29 貝塚	印旛郡酒々井町酒々井
30 貝塚	志志野市藤崎2丁目
31 貝塚	野田市清水
32 貝塚	香取郡神崎町並木
33 貝塚	〃 印旛町木下
34 貝塚	富津市網

平成元年時人口は5425,424人(全国第7位)で全国人口の4%強を占め、現在なお高い増加をみせている。昭和20年、わずか7市に過ぎなかったが、平成元年4月1日現在28市のうち、10万以上都市14市という現勢が示す通り、都市化の伸展は極めて著しいものがある。

このような人口増、都市化と表裏をなし、工業化も著しく、全国第8位を占めている一方、農業粗生産額第3位漁獲量第8位で一大食糧生産県の地位を誇り、全国屈指の産業界を形成している。また、県域は観光・保養県の大きな役割を果たしており、貴重な資源として全国的な評価を得ている。

わが国最大の新東京(成田)国際空港も開港以来10年を経過し、幕張新都心のオープン直前に本県は高速自動車道路網整備と合わせ、まさに国際的県域を形成することとなった。

伸びゆく千葉と道路網形成

房総の道は徳川氏の江戸開府により、水路と合わせ、その役割は高まった。それは、当時、人口規模世界一と言われた江戸城下の人々を中心対象とした甘藷、塩、醤油などを含めた多種の農産品供給と、庶民の遊芸、宗教のため、とくに成田山、鹿島神宮などへの旅の活性化によるものであった。

明治以後、昭和20年までは、さらに強まった大東京の人口機能集積に対し、農産物の供給県として、また北西の大東京のベッドタウンか、軍事施設設置が県域活動を特徴づけ各種交通施設の整備が進化した。

このような状況の中で、道路整備も進んだが、自動車保有の規模の絶対的小さから鉄道網、港湾に比べ、量・質ともに極めて貧弱なものであった。

しかし、昭和29年に始まる「道路整備五箇年計画」をえて、本県域における道路整備は漸く本格化し、今日での本県の道路は、高速自動車国道等6路線、東京、埼玉、茨城の各都県に通ずる国道一般11路線と県内主要都市を結ぶ127号、296号、356号、409号等の一般国道9路線を幹線道路とし、それに主要地方道69路線、一般県道28路線(自転車専用道も含む)および市町村道105,390路線が接続して道路網を構成している。



「千葉県道路愛称名制定」について

本県においては「ふるさと千葉5か年計画」4年目を迎え新産業三角構想の着実な進歩、東京湾横断道路着工など国際的飛躍への期待と、将来に向けての新しいプロジェクト、既存の豊富な観光資源とが相俟つての調和の取れた千葉県イメージアップ推進が新たな課題となる時期を迎えています。

このような時期での県内域道路整備推進にあり親しみ、潤いある生活空間等の道路づくり、あるいは楽しい道路環境の創造は極めて重要なものとなっています。

千葉県はこの推進策の一環として県内大プロジェクト拠点あるいは観光地と連結する広域的幹線対称の「道路愛称づくり運動」を行うこととし、昭和63年度には県内有識者による「千葉県道路愛称制定委員会」設置し、昭和62年度制定名と合わせ、これまで24の愛称名制定の成果を得ることとなりました。

両年度にわたり、制定された具体的愛称名は以下の表の通りであります。

昭和62年度制定	昭和63年度制定
水戸街道 Mito-Kaidō	内房なぎさライン Uchibō-Nagisa Line
木下街道 Kioroshi-Kaidō	外房黒潮ライン Sotobō-Kuroshio Line
成田街道 Narita-Kaidō	九十九里ビーチライン Kujukuri-Beach Line
千葉街道 Chiba-Kaidō	利根水郷ライン Tone-Suigō Line
佐倉街道 Sakura-Kaidō	流山街道 Nagareyama-Kaidō
東金街道 Tōgane-Kaidō	松戸街道 Matsudo-Kaidō
大網街道 Oami-Kaidō	大多喜街道 Ōtaki-Kaidō
茂原街道 Mobara-Kaidō	房総横断道路 Bōsō-Ōdan Dōro
長狭街道 Nagasa-Kaidō	房総スカイライン Bōsō-Sky Line
房総フラワーライン Bōsō-Flower Line	久留里街道 Kururi-Kaidō
	清澄養老ライン Kiyosumi-Yōrō Line
	芝山はにわ道 Shibayama Haniwa-Dō
	佐原街道 Sawara-Kaidō
	空港通り Kūkō-Dōri

凡例

高速自動車国道(開通済) 高速自動車国道(未開通) 有料道路 一般国道 区間距離(〇) 主要地方道 その他の道路 通行困難 フェリー線 旅客鉄道線(駅) 私鉄線(駅) ケーブル・ロープウェー	国立・国定公園 都府県界 主な定期航路 市 町 村 国民休暇村 国民宿舎 モテル・モビレジ スキー場 スケート場 愛称名制定道路 起点 終点	ゴルフ場 海水浴場 温(鉱)泉 名所・旧跡 釣場(淡水魚) 花・紅葉の名所 国道における 12~4月 冬期通行困難箇所
--	---	--

(注)地図中インターチェンジに付いている番号は道路標識に
 しているインターチェンジ番号と同じです。

縮尺 1:400,000
 (本図グリットの幅は20km)

この地図の作製にあたっては、建設省国土地理院発行の50万分の1地方図を使用しました。(測量法第30条に基づき成果使用承認 昭59、総発第7号)